第194回「河川文化を語る会」のご案内

講演　利根川東遷の謎 ―今更の疑問、なぜ？―

講師　竹村（たけむら）　公太郎（こうたろう）　氏

（特定非営利活動法人 日本水フォーラム　代表理事）

1590年、徳川家康は豊臣秀吉によって関東、江戸に移封された。これは左遷よりさらに酷い幽閉であった。家康は不毛の大湿地帯の中に孤立してしまった。1600年、その家康は関ケ原で勝利すると、なぜかその江戸に帰ってしまった。家康には関東での大仕事が待っていた。利根川東遷事業であった。伊奈忠次に命じた利根川東遷は、緑が目に染みる利根川流域を手に入れるにはどうしても必要な事業であった。

利根川東遷を企画した伊奈忠次とは、どのような人物だったのか？ 伊奈流治水とはどのようなものだったのか？ この難工事の東遷の目的は何だったのか？ 関東平野の治水？ 関東の水運確保？ 北の伊達政宗への防御？ 日本最大の国土の大変更を成し遂げた家康は、何を考えていたのか？ 家康は関東で何を見ていたのか？ なぜ、利根川東遷が必要だったのか？

家康は何も書いていない。何も言葉で残していない。だから河川に携わる私たちの謎ときの永遠のゲームとなっている。

【講師略歴】

日本水フォーラム代表理事及び事務局長。博士（工学）。1945年生まれ、神奈川県出身。
1970年東北大学工学部土木工学科修士修了。同年建設省入省、宮ケ瀬ダム所長、中部地方建設局河川部長、近畿地方建設局長を経て国土交通省河川局長。2001退職。一貫して河川、水資源、環境問題に従事。首都大学東京客員教授、人事院研修所客員教授。
著書：「日本文明の謎を解く」「土地の文明」「幸運な文明」「日本史の謎は『地形』」で解ける」（PHP文庫３部作）「水力発電が日本を救う」（東洋経済新報社）など多数。

■開催日時　平成２９年１０月３０日（月）　１４：００～１６：００

■開催場所　埼玉県県民健康センター　１Ｆ「大会議室Ｃ」
（さいたま市浦和区仲町3-5-1　TEL:048-824-4801）

■交　　通　「浦和駅」から徒歩15分　「中浦和駅」から徒歩20分

■参 加 費　無　料

■申し込み/問い合わせ　氏名・(勤務先)・TEL・(FAX)・二種正会員(個人会員)/一般の別を明記の上、FAX/郵送/E-mailのいずれかでお申し込みください。(参加票の送付等はありません。直接会場へお越しください)

公益社団法人日本河川協会「河川文化を語る会」事務局　　担当：高木，佐藤
TEL：03-3238-9771　FAX：03-3288-2426　E-mail：kataru@japanriver.or.jp

■申込締切　定員(100名)になり次第締め切らせていただきます。お早めにお申し込みください。

主催： 公益社団法人 日本河川協会　　**共催：彩の川研究会**　　**後援：埼玉県**

当講演会は、「土木学会CPDプログラム」として認定されています。
（認定番号：JSCE17-0940，単位数：2単位）

---------- (切り取らずにこのままFAXしてください) ----------

日本河川協会 行　　ＦＡＸ：０３－３２８８－２４２６

第１９４回「河川文化を語る会」参加申込書

ふりがな
氏　名　　二種正会員(個人会員)・一 般・学 生 (いずれかを○で囲んでください)

勤務先(記入は任意)

※職種（いずれかに○）　建設コンサルタント・建設会社・その他民間企業・行政・財団/社団・NPO等川や水の活動・その他

TEL　　(　　)　　FAX　　(　　)

（※ ご連絡いただきました個人情報は、厳重に管理した上で、講演会等当協会からのご案内に利用させていただきます）

河川基金　**当講演会は、公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けています。**